



学校通信

令和2年度 第1号
令和2年 4月 6日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美



「よいところみつけ名人になろう」3年目

校長 岡部 良美

開三小に育つ19本の桜の木の花が見事に咲き、太陽の日に照らされ輝いています。本日の第1学期始業式、入学式をもって練馬区立開進第三小学校の令和2年度、開校88周年の教育活動が始まりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

一年生120名、二年生122名、三年生115名、四年生127名、五年生104名、そして六年生は105名の全児童693名でスタートをいたしました。すべての学年の子供たちが元気に登校し、子供たちの活気と満面の笑顔を見て、心地よく感じました。そして、子供たちのリーダーとして活躍していく六年生の姿を見て、他の子供たちが学び、開三小の伝統を繋ぎ、よさを創り出していくことへの期待を私はもちました。

昨年度、保護者や地域の皆様にご協力いただき、教育目標『誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供』の育成を目指し、教育活動を進めています。現在とは大きく変化すると予想される2030年代の社会において子供たちが活躍する上で必要な資質や能力を小学校段階で育てることを目指す教育目標です。その実現に向けて、今年度も社会に開かれた教育課程の実現を目指して、生活科と総合的な学習の時間を核として、教師の指導力・授業力の向上を図ってまいります。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、保護者・地域の皆様との連携・共有の下、実践的研究を進めていきます。

本日の始業式・入学式の日において、私は子供たちに、「開三小の1年間のめあては、『よいところみつけ名人になろう』です。この意味は、自分のよいところも、友達のよいところも見付ける名人のことです。みなさんは毎日、どんどんよいところが増えていきます。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してくれたところなどを見付けましょう。」と伝えました。このめあては3年目になります。『自分のよいところが分かる』、『友達によいところを認めてもらう』ことは、『自分はこれでよい存在なのだ』と思える自信に繋がり、前向きになります。それに伴って、友達など他を受け止め、受け入れる、対話・協力する、自分の主張を相手に譲り、相手のために力を尽くす行動にも繋がると考えます。お互いのよさが分かっている、自分のことが分かってもらえると思えば、安心して学校生活を送れます。友達と仲良くすることはもちろん、学習においても間違ふことを恥ずかしがらず、一生懸命考え判断し表現するなど、個性と能力を発揮できる、挑戦できる環境になると確信して、今年も開三小を創っていきます。

明日より臨時休業となりますが、今年度も教育活動へのご協力をお願いいたします。

○本年度より、朝の登校は、正門と西門を使用いたします。

○4年担任2名が改姓し、相川(旧姓 浅見)教諭、青柳(旧姓 鈴木)教諭となります。

○臨時休業期間(4月7日から5月6日)の登校日

・1年生は、登校日はありません。5月7日(木)より、登校となります。

・他の学年は、4月10日(金)、17日(金)、24日(金)、5月1日(金)です。